

第 3 回 校友会夢キャンパスセミナーに参加して 船越・黒沼緑土会会員

平成 29 年 10 月 14 日に開催されました第 3 回 校友会夢キャンパスセミナー「南極に立てた風車」(南極観測隊出張報告)に緑土会の船越・黒沼会員が出席しましたので報告してもらいました。

演題 南極に立てた風車

講師：中村 英明
東京都市大学二子玉川 夢キャンパスセミナー
平成 29 年 10 月 14 日

——南極観測隊出張報告——



1、司会の白木教授より講師の紹介

講師の中村英明氏は、1994 年武蔵工業大学 工学部機械工学科卒業

日本飛行機株式会社に就職し、航空機装備品の開発に従事、2008 年より風車開発に加わり、それを南極に設置するため、南極観測隊として 4 回（平成 23 24 26 27 年）の南極活動を経験した。



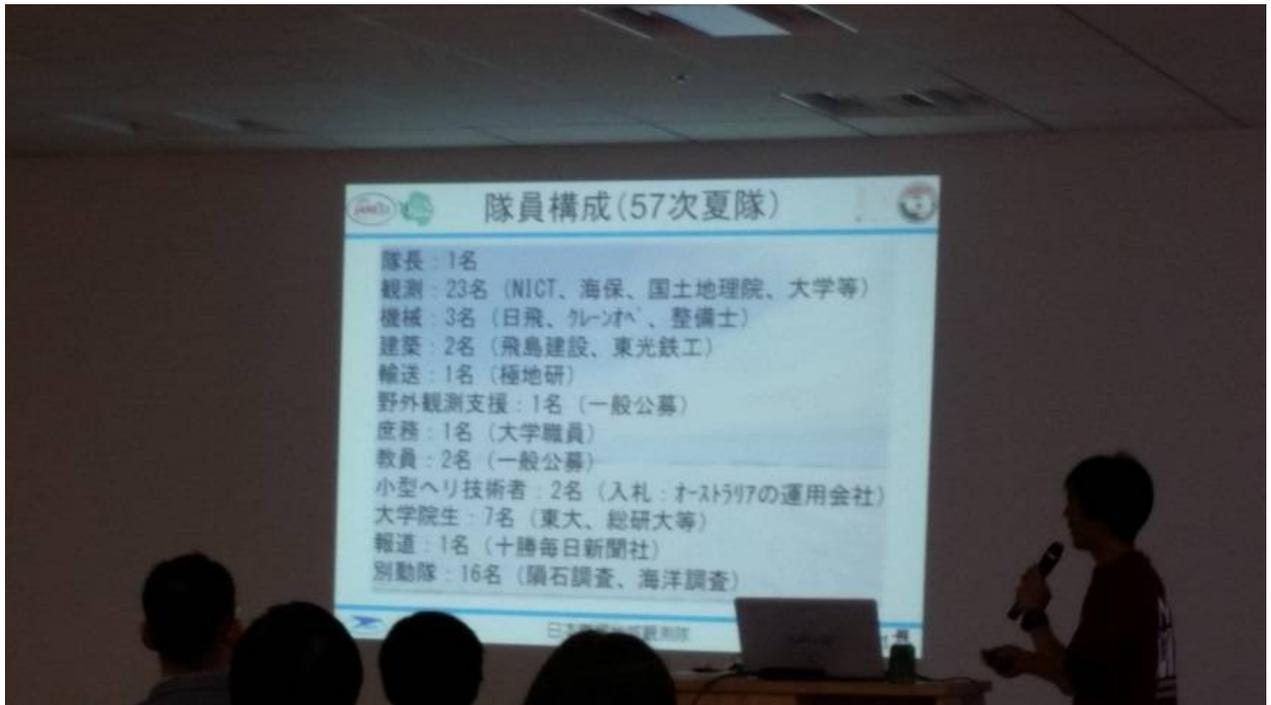
2、【建設した風車の概要】



- (1) 第57次南極地域観測隊は風力発電用の風車を建設(昨年に続く同型2号機)
- (2) 建設した風車は高さ約13m、幅約6.5mで発電機は最大出力20キロワット
- (3) 風車は右写真のように回転翼が垂直で、風向きに関係なく発電でき、丈夫で故障が少ない
- (4) 自然エネルギーを活用する事で、基地で使う燃料(軽油・灯油等)を節減できる
- (5) 南極観測隊はこれまでに「あすか観測拠点」等の風力発電を利用。
- (6) 太陽電池は冬季の5～7月の発電は期待できない



3、観測隊員の構成(57次夏隊)



4、帰りの船中から見たオーロラ

(昭和基地の夏は白夜でオーロラは見られないそうです)





5、第3回 校友会夢キャンパスセミナー「南極に立てた風車」に参加して



内容

- (1) 垂直風車の優秀性
- (2) 南極での生活
- (3) 持ち出し廃棄物
- (4) 中村氏の活躍を物語る4種類のキャップ（船越さんは実際に被られたそうです）
等々初めて聴いたのしいお話でした。